

令和4年度 教師不足について

学校人事課

前年度、文科省が公表した「教師不足」に関する実態調査において、本県は128人の不足でしたが、今年度は97人の不足（令和4年5月1日現在）でした。

引き続き、不足解消に向けて、対策を講じて参ります。

1 現状

不足数	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	合計
令和3年5月1日	36人	42人	11人	39人	128人
	↓	↓	↓	↓	↓
令和4年5月1日	29人	30人	10人	28人	97人
	▼7	▼12	▼1	▼11	▼31

※「教師不足」の定義（文科省資料より）：実際に学校に配置されている教師の数が、教育委員会において学校に配置することとしている教師の数を満たしておらず、欠員が生じている状態。

2 教師不足の主な要因

(1) 小中学校

- ・退職者増に伴う新規採用者数増のため、志願（受考）倍率が低下し臨採が枯渇
- ・特別支援学級数の増加に伴う必要教員数の増加

(2) 特別支援学校

- ・特別支援学校の児童生徒数の継続的な増加及び令和元年4月以降の新校開設（3校）による必要教員数の増加

3 昨年度からの対応状況

(1) 再任用教職員の積極的任用

- ・定年退職者への働きかけを行い、小中学校における再任用希望者（R4採用）が52%に増加（前年度比+8ポイント）。小中学校全体で67人、特別支援学校で8人の増加。

(2) 特別支援学校教諭の免許状を持つ高校籍教員を特別支援学校へ配置

- ・R4年度の異動で、特別支援学校教諭を5人増員。

4 今後の取組

(1) 採用数の増加

- ・R5年度採用予定数を410人に増加（前年度比+56人）

(2) 再任用教職員の積極的任用

- ・定年退職者の再任用希望者がさらに増加するよう声掛けを強化する。

(3) 退職職員等への働きかけ

- ・7月施行の教育職員免許法改正に伴う、免許更新制度の発展的解消により教員免許状休眠者への働きかけを強化するとともに、特別免許状（優れた知識経験のある社会人に免許を付与）による多様な人材を確保。